



「花いっぱい運動」～地域住民・事業所の皆さんが大切に育てました～

地域住民と一体となり 創造性豊かなむらづくり

～平成9年度施政方針～

- ◆伝承ばなしの博物館③ 漂着人と唐人墓
- ◆平成9年度事業実施計画



青と緑の豊かな活力ある村

漂着人と唐人墓

伝承ばなしの博物館③

筆執 金城康長 (恩納村教育委員)



▲仲泊貝塚近くに残る唐人墓

「石川、東恩納方面の牛売買の二人連れ商人が、読谷、嘉手納へ行く途中、仲泊貝塚あたりのヒヤーグン曲がりにさしかかる。ちよとどその時、海岸に打ち上げられた死体を発見する。二人は、死体の懐にたんまりお金があることを確認すると、それを抜き取り、山分けにする。互いに「今日のことは子々孫々まで誰にも言わず黙っておこう」とかたく約束する。それからといふもの、両家には代々、物言えぬ子が誕生するようになった。悪事は隠しても隠せない、という教訓話がリアルに伝承されている。テレビの犬神家の一族の話よりも、ヒヤーグン曲がりが眼前にある分、こちらが怖い。さて、漂着船にまつわるこ

な実話が中山世譜という琉球古書に載っている。「一八二五年、尚こう王代、福建省(中国)を出発した三十人乗りの商船が暴風に遭い、うち二十六人が死亡。残る六人は水櫃(水を入れる大型の箱)に入って仲泊沖に漂着するが、すでに五人は死亡していた。生き残った一名は土地の人に、よって手厚く看護され、元氣回復し、泊村に送られた。たぶん福建省の船で帰郷したのだらう。その時の死者名は墓碑に刻まれ、「唐人墓」(トーンチュバカ)として仲泊貝塚近くに残っている。

民間や琉球王府の貿易船に乗り、東南アジアを駆け巡っていた琉球王国の博愛精神は、このように国民末端まで行き届いていた。当時、日本は鎖国の真つ最中。江戸幕府からは、同じく一八二五年に、日本に近づく外国船は打ち払えという、「外国船打ち払い令」が発令されている。同じ年のでき事とは思えない。「武器を持たぬ心の広い国」とバジル・ホール船長から紹介され、かのナポレオンがいたく驚嘆した小さな王国、「レキオ」(琉球のこと)の平和な日常が、ここ、恩納村の仲泊にも見られる。博愛精神には、もともと国境などないのが当たり前だったのである。余談だが、このよ

(沖縄民話の会々員)



4月23～29日
みどりの週間



増やそう うるおいとやすらぎ伝える 身近なみどり

人口の動き

(3月末日現在)

人口	9,211人 (-15)	
男	4,727人	女 4,484人
世帯数	2,985世帯	

平成9年度事業実施計画

- ▼防犯灯施設工事 総務課
- ▼交通安全施設工事 総務課
- ▼シルバーゾーン広報板等設置工事 総務課
- ▼環境整備補助金 保健衛生課
- ▼川田原農道舗装工事(名嘉真) 建設課※L11560m W113.4m
- ▼村道喜瀬武原線維持工事(喜瀬武原) 建設課※L1195m W114.4m
- ▼徳首川維持工事(喜瀬武原) 建設課※L1130m W113.0m
- ▼太陽電池式誘殺灯設置工事(安富祖) 経済観光課内※誘殺灯システム本体1台
- ▼安富祖原農道舗装工事(安富祖) 建設課※L11850m W115.0m
- ▼村営住宅安富祖団地建設工事(安富祖) 建設課※3棟×4112棟 2階建
- ▼村営住宅安富祖団地敷地造成工事(安富祖) 建設課※A113、650㎡ 全体(保育所を含む) A116、900㎡
- ▼勢理田原農道舗装工事(恩納) 建設課※L11460m W115.0m
- ▼野原農道舗装工事(恩納) 建設課※L11300m W115.0m
- ▼渡り座農道舗装工事(南恩納) 建設課※L11700m W115.0m
- ▼キャンプ・ハンセン赤土流出防止工事(志嘉座川貯溜ダム)(南恩納) 建設課※貯溜型砂防ダム1基 堤頂長L1151.5m ダム高114.5m
- ▼村道谷茶原線道路改良工事(谷茶) 建設課※L11326m W115.0m
- ▼前兼久漁港13.0M航路浚渫工事(前兼久) 建設課※△3.0M航路(A1138、000㎡ V1150、250㎡)用地製造A119、000㎡ V1125、350㎡
- ▼前兼久漁港水路護岸工事(前兼久) 建設課※水路護岸2000m 用地造成 V1125、000㎡
- ▼前兼久法崩壊防止工事(前兼久) 建設課※法枠工 排水工
- ▼仲泊内海埋立工事(仲泊) 建設課※埋立1121、700㎡
- ▼垂川改修工事(山田) 建設課※L1158m W118.5m H112.9m
- ▼山田原農道舗装工事(山田) 建設課※L11200m W115.0m
- ▼真栄田漁港植栽工事(真栄田) ※防風林一式
- ▼宇加地近隣公園工事(宇加地) 建設課※A114、430㎡
- ▼山田小中学校校舎新增改築工事 学校教育課※A11781㎡
- ▼山田小中学校校舎併行防音工事 学校教育課※A11781㎡
- ▼安富祖小中学校屋内運動場解体工事 学校教育課※A111、138㎡
- ▼仲泊幼稚園園舎新增改築工事 学校教育課※A11215㎡
- ▼恩納幼稚園園舎新增改築工事 学校教育課※A11320㎡
- ▼仲泊幼稚園園舎併行防音工事 学校教育課※A11215㎡

▼恩納幼稚園園舎併行防音工事 学校教育課※A11320㎡

▼仲泊幼稚園園舎併行防音工事 学校教育課※A11215㎡

▼恩納幼稚園園舎解体工事 学校教育課※A11215㎡

▼山田小中学校校舎併行防音工事 学校教育課※A11781㎡

▼山田小中学校校舎新增改築工事 学校教育課※A11781㎡

▼宇加地近隣公園工事(宇加地) 建設課※A114、430㎡

▼真栄田漁港植栽工事(真栄田) ※防風林一式

▼山田原農道舗装工事(山田) 建設課※L11200m W115.0m

▼垂川改修工事(山田) 建設課※L1158m W118.5m H112.9m

▼野原農道舗装工事(恩納) 建設課※L11300m W115.0m

▼野原農道舗装工事(恩納) 建設課※L11460m W115.0m

▼勢理田原農道舗装工事(恩納) 建設課※L11460m W115.0m

運動の輪を広げよう心豊かなふるさとづくり

心豊かなふるさとづくりは、次の三つの運動を柱とし、クリーン・グリーン・グレイシャス(CGG)とも呼んでおります。

- ふるさとを美しく清潔にする運動……クリーン(CLEAN)
 - 家のまわり、海や野山をきれいにしましょう
 - ゴミの投げ捨てはやめましょう
 - 清掃活動に積極的に参加しましょう
- ふるさとの心を育む運動……グレイシャス(GRACIOUS)
 - 親切にし、礼儀を正しくしましょう
 - 互いに助け合い、良い風習を育てましょう
 - スポーツに親しみ、健康な体をつくりましょう
- ふるさとを緑と花で包む運動……グリーン(GREEN)
 - 自然を愛し、緑と花を育てましょう
 - 職場・学校・家庭を緑と花で飾りましょう
 - 街路の花や木を大切にしましょう

毎月第1日曜日は『村内美化の日』
この運動は、村民一人一人が身近なものとして、自発的に実践活動を行うことによって大きな効果をもたらします。

恩納村心豊かなふるさとづくり推進協議会 〒904-04 恩納村字恩納2451番地(恩納村役場 経済観光課) 電話(098)966-8011

平成九年度施政方針

地域住民と一体となり
創造性豊かなむらづくり



平成九年第八回恩納村議会定例会の開催にあたり、平成九年度一般会計予算をはじめ特別会計予算、諸議案の説明に先立ち、平成九年度の村政運営の基本姿勢と所信の一端を申し上げ議員各位並びに村民のご理解とご協力をお願い申し上げます。

私は、平成八年九月の村長選挙において、村長就任四期目の村政を負託され、平成八年第八回臨時議会で村政運営に対する所信表明を致しましたが、平成九年度における具体的施策についてご説明致します。

まず、国際社会における東西の冷戦終結による対話と協調が進展する中、民族紛争やテロ事件が多発しておりますが、特にペルーの日本国大使公邸占拠事件の平和的・早期解決を望むものであります。

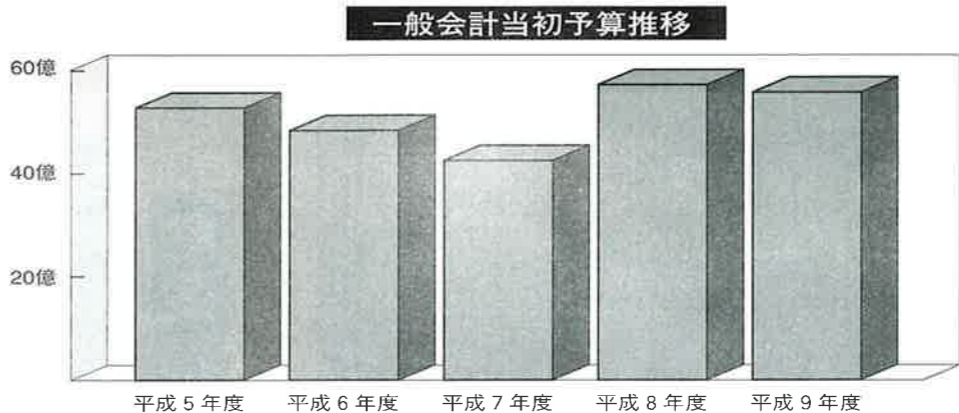


又、国内においては昨年の0-157による食中毒の発生や、北海道のトンネル陥没事件。今年の福井県沖における重油流出事故による被害等が発生しており早期解決を願うものであります。

次に県内の情勢であります。昨年は、知事の代理署名拒否に対する国の訴訟問題・基地の整理縮小の賛否を問う県民投票の実施・普天間基地返還合意に伴う代替ヘリポート移設問題等難問が山積している状況にあります。

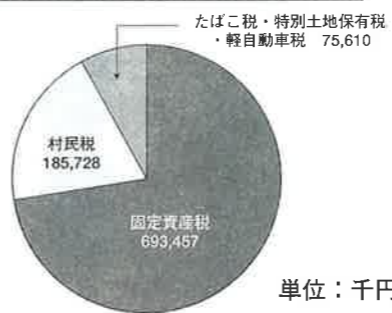
さて、平成九年度の村政運営の基本施策については平成八年第八回臨時議会において所信表明で明らかにしましたが、恩納村第三次基本構想に掲げられているむらづくりの将来像を「青と緑の豊かな活力ある村」として、平和と自然環境の理念を尊重し、貴重な自然を後世に引き継いでまいります。又、地方分権や行政改革が国会で論議されておりますが、地方自治の確立を目指し、村政運営の施策を推進するため地域住民一体となり創造性豊かなむらづくりを推進致します。

平成九年度一般会計予算 五六億九千九百九十九円



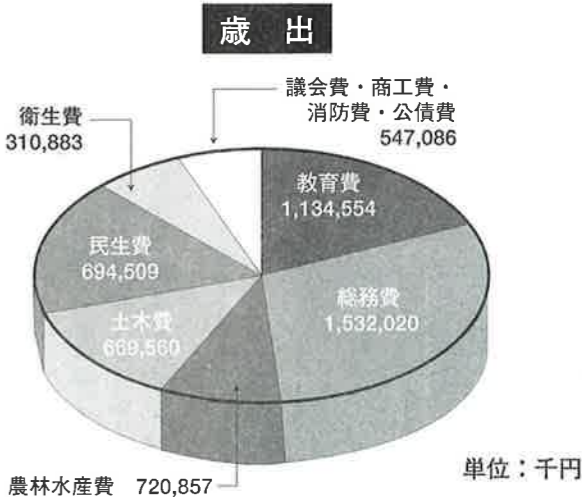
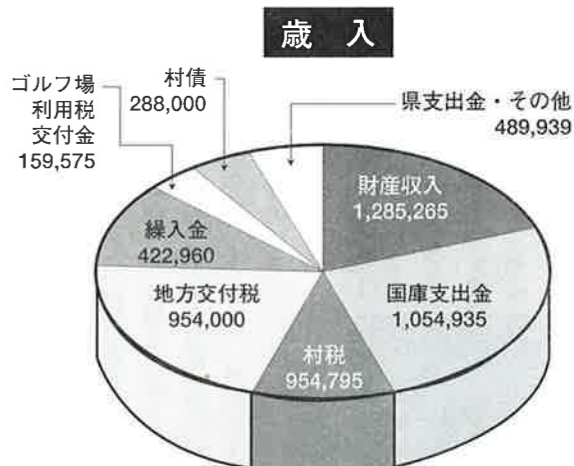
国の財政は、平成九年度末の公債残高が約三百四十一兆円に増加する見込みであり、前年度に引き続き国債費が政策的経費を圧迫するなど構造的に益々厳しさを増しております。
景気は緩やかに回復しつつあるとは言え、税収も今後の経済動向に左右されるため、その見極めが難しいなど財政を巡る状況は一段と深刻さを増しています。
このような状況下で、今後急速に進展

村税内訳



する人口の少子化、高齢化、情報化や国際社会における我が国の責務の増大など、今後の社会経済情勢の変化に財政が弾力的に対応していくためには、健全な財政運営を確保し、公債残高が累積しない財政体質を確立していくことが具体的な課題となっております。
村の財政は、財政力指数が年々減少傾向にあり財源は厳しさを増してきております。自主財源の柱である村税は、わずかに前年度実績を(〇・八%)上回っているものの、交付税、財産収入は、前年度実績を下回っており大きな伸びは期待できない状況であります。

このように、財源の確保に困難を窮めている現状にあっても村民の旺盛な財政需要に応えるためには、地方財政計画の整備と、地方分権を担う人づくりを図り、住民の理解と協力の下、「事務事業の見直し、組織・機構の見直し、定員・給与の見直し」をより一層推進していく必要があります。
平成九年度は、国・県の予算及び地方財政計画の動向を見守りながら、恩納村基本構想に基づき制度や事業の見直し、事業の優先順位の選択を行い、諸経費の節減合理化に努め、今後の厳しい財政運営に対処し、諸事業を推進できるよう鋭



庁舎建設・仲泊内海整備計画

地域活性化の拠点 庁舎・資料館基本設計を実施

村民が誇れる 新庁舎を

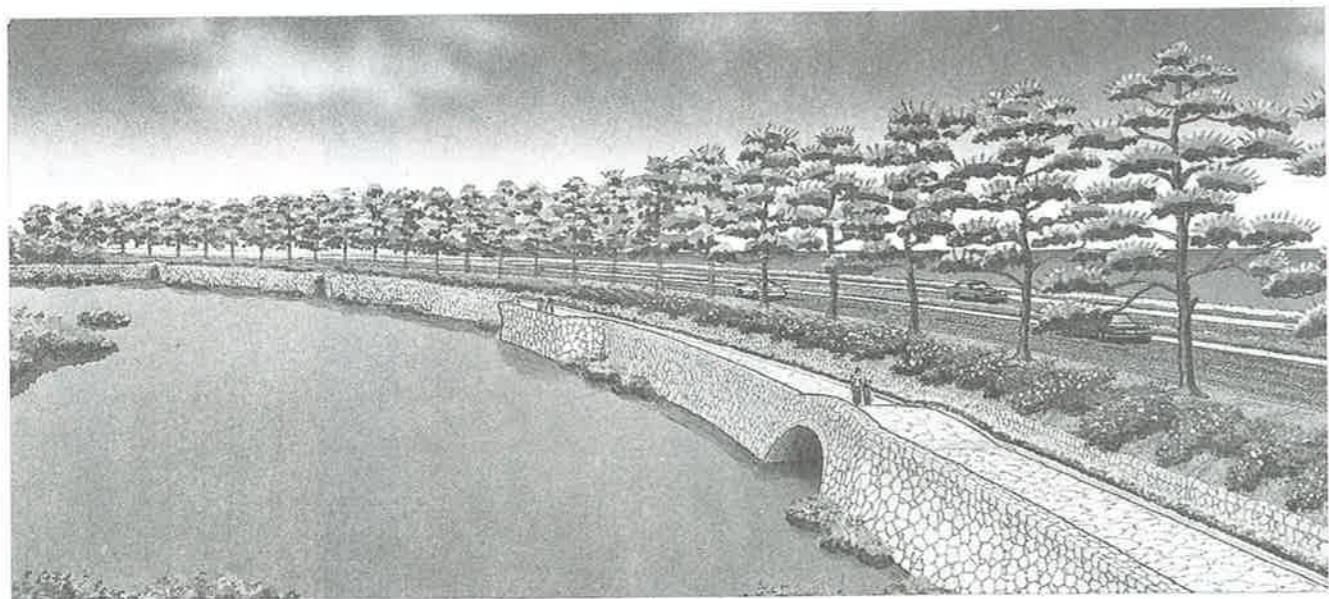
新庁舎建設計画は、平成元年一月の庁舎建設基本計画策定委員会の設置及び平成三年十月の庁舎建設委員会の設置以来、庁舎建設敷地選定についてこれまで協議を重ねてまいりました。その後、平成八年十二月定例議会において、関連する予算が認められたものであります。

平成八年度は、地権者への説明及び協力依頼並びに関係行政機関との調整を行ってまいりました。
平成九年度は、用地購入・基本設計等を実施し、敷地内での庁舎の位置や内部の概要等を議会及び庁舎建設委員会等の皆様のご意見を拝聴し、村民の誇れる新庁舎建設を推進致します。



特産物販売 施設も計画

恩納村南部の地域活性化の拠点づくりとして、仲泊内海を整備致します。
まず、歴史国道として国頭方西海道が国から認定され、歴史の道や遊歩道・休憩所等の整備計画も村と国の間で協議も済み、平成九年度から本格的に工事着工の予定となっております。又、村においては、平成九年度に仲泊内海埋立工事及び歴史民俗資料館の基本設計を実施致します。
更に、農林水産物・村の特産品展示販売施設や道の駅構想など関係機関と実施に向けて協議してまいります。



郷土の自然と文化に誇り 国際性に富む人材育成を

本村の子どもたちが変化の激しい社会を生き抜く力を育むため、個性尊重を基本とし、国及び郷土の自然と文化に誇りをもち、創造性、積極性、国際性に富む人材の育成と生涯学習の振興を期して、次のことを目標に教育施策を推進してまいります。



一点目に、「自ら学ぶ意欲を育て、知、徳、体の向上を目指す」とともに、発表力とねばり強さをもつ児童生徒の育成を図る。
二点目に、「平和で活力ある社会の形成者として、豊かな人間性とたくましく生きるための健康や体力を培い、郷土文化の継承発展に寄与する村民の育成を図る」。
三点目に、「家庭、学校、地域社会、行政の連携のもとに、社会の変化に対応し得る教育方法を追求し、生涯学習社会への移行を図る」。
その主な具体策は、次のとおりであります。

学校教育の振興

- ① 学校教育については、恩納幼稚園新増改築工事、仲泊幼稚園新増改築工事、山田小中学校校舎新増改築工事、安富祖小中学校屋内運動場新増改築工事に着手いたします。
- ② ひきつづき村内各幼稚園、各小中学校を村教育委員会指定とし学力向上を推進します。
- ③ 童話、お話、主張、意見発表会及び英語ストーリーコンテスト、園児お話、小学生英会話大会を行います。
- ④ 小学生の東京ディズニー体験学習、中学生の石狩市体験交流学習を行います。
- ⑤ 小学六年生の宿泊学習を継続して行ないます。



生涯学習の推進

人材育成については、社会の変化に対応し各界で活躍し得る人材の育成を図るため、国際交流事業、及び中学生・高校生を対象にアメリカ・カナダのサマースクールへの派遣助成等を実施致します。社会教育団体等の育成は、行事遂行に必要な知識技術の習得を図ると共に、生涯学習に対応する団体として幅広い理解と調整能力を養成し、指導者の資質の向上を図るため青年リーダー・子ども会リーダー等の研修会を実施致します。

人材、社会教育 団体の育成

心豊かな生涯学習社会をめざして、生涯学習を推進し、多様化する学習ニーズに対応する学習機会の拡充を図るため、婦人学級・高齢者学級・青年教室・家庭教育学級・文化講演会等を実施致します。

青少年の健全教育

自然体験で自然に触れ合うことにより、自然に親しみ仲間と協力することによ

保健体育の振興

年々多様化していく村民のニーズに対応するため、村民の健康と体力の維持・増進と指導者の育成、指導体制の確立を図るため研修会・講習会・スポーツ教室等の開催を実施致します。

又、本土復帰二十五周年記念事業として、健康で心豊かに生きるための生涯スポーツの祭典として「第十回スポーツレクリエーション祭」が県内各地で開催されますが、恩納村においては、ビーチバレー大会を開催致します。
全国からの選手・役員を迎えるにあたり、村民を挙げてこの祭典の円滑な運営と成功を期したいと存じます。



文化振興 文化財保護

村民の意欲的な芸術文化活動を奨励す

るとともに、広く村民に芸術芸能の鑑賞の機会を提供し、もって郷土文化の向上発展に資することを旨として恩納村文化展・移動県民劇場小公演等を実施致します。
香り高い郷土文化の保存、継承、発展を目指し歴史ロードを歩こう・親子文化財めぐり等を実施致します。



国民年金・国民健康保険・老人保健

国民年金事業は、急速な高齢社会を迎えるに当たり、村民生活に果たす役割はますます重要なものとなってきています。しかし、我が村においても、依然として相当数の未納者が存在しており、年金権確保のため適用対策及び収納対策に積極的に取り組み、無年金発生防止に努めてまいります。
年金制度の周知を図るためには、地域に密着した広報の強化が必要であること

から、年金制度のメリットを周知する等工夫された広報活動を実施致します。
国民健康保険加入者は四、八五二人（五二％）であります。高齢化に伴い、医療費の増高は依然として続いており、保険料はきびしい状況にあります。健全な財政運営を図るため収納率の向上など国保財政の充実強化のため取り組んでまいります。
老人人口は一、五八六八（二七・二％）

で確実に高齢化へ向かって進んでいきます。私たちが長い人生を有意義に暮らすには心身ともに健康であることが不可欠です。しかし、高齢者は一般的に心身機能の衰えや有病率、受療率が高くなり、これは、日常の健康管理によって防ぎ得る疾病が中心となっています。若年期から健康管理を生活習慣として定着するように健康教育を実施致します。

観光と農林漁業結びつけた

関連産業の振興

農業振興

本県の農業情勢は、農産物の自由化・価格低迷やさとうきびの品質取引制度等厳しい環境の中、輸入農産物も増え本県農業を圧迫しています。しかし、近年本県の農業においては、亜熱帯気候を生かした野菜、花き、切葉、鉢物、熱帯果樹生産の増大等、農業振興の新たな展望に加え観光・リゾート産業も新たな気運が生まれております。

この様な近年の新しい農業諸情勢に対応するには、これまで促進してきた農業基盤の整備をさらに進め基盤整備終了地区には農業用水確保のかんがい排水事業、農業近代化施設、赤土の流出を防ぐため有機質土壌への改良及び堆肥等の助成等を行い亜熱帯農業の確立を図り、併せて農家の資質向上と経営指導の強化を図ってまいります。

特に近年は収益の高い観葉植物や切葉・切花等の生産に若年層が中心となっており、その生産は漸次伸びてきており本村の農



業粗生産額に占める割合もかなりの比重で推移してきております。又、本村は県の代表的な観光レクリエーション地であり自然環境、集落環境及び村民生活、農業、漁業、商工業等との関連が深く総合性を帯びていることから、今後とも、観光と農林漁業を結びつけた関連産業の振興に努めます。

林業振興

本村の森林面積は村土の61%を占め、そのうちの7割は村有地で、私有地は3割となっております。村有地においては村土の保全及び水源かん養保全林となっており有用樹種の造林や天然林の改良、治山事業等を積極的に推進します。

又、地域住民の生活環境保全を進めるため防風林造成事業及び保安林改良事業を継続的に実施すると共に地域の緑化・村土保全に努めます。村苗畑においては造林、緑化木、防風林、農地防風林用苗木及び草花の苗を生産供給できるよう引き続き実施してまいります。

水産業振興

水産業につきましては近年、水産業を取り巻く諸情勢は大きく変化しつつあり、本村周辺海域漁業についても従来

漁港整備

漁業者の所得向上及び国土の保全と海浜の有効利用を図るため、これまで真栄田漁港、前兼久漁港、恩納漁港の整備を推進してまいりました。前兼久漁港は、村内における三漁港の

拠点ともなっており、観光漁業等の増大により漁船が大型化し、漁港施設が狭いため、第九次漁港整備長期計画（平成十一年度まで）拡張事業が採択され鋭意推進しているところであります。本年度は、航路浚渫工事、水路護岸工事（村単）、及び真栄田漁港植栽工事を実施いたします。

農業基盤整備

農家の所得向上を図るため、本土復帰以来、土地改良事業を主軸に農業基盤整備を強力的に推進してまいりましたが、現在、農地開発事業においては、団体営宇加地地区を残すのみとなりました。本年度は、団体営宇加地農地造成事業、県営喜瀬武原畑地灌漑排水事業が実施されます。

更に、団体営都田地区灌漑排水事業のダム本体工事に着手いたします。農道については、これまで石粉舗装で維持管理を重点的に



行つてまいりましたが、平成九年度も防衛庁の調整交付金事業で整備を推進してまいります。本年度は、利用度や緊急性等に配慮しつつ、渡り座農道舗装工事他三件と団体営農道整備事業及び川田原農道舗装工事を実施いたします。

商工観光振興

本村は恵まれた自然環境と関係機関の努力により、年々成長発展し、今や県下最大の観光・リゾートのメッカとして、広く県内外に知れ渡るまでになりました。しかしながら、バブル経済の崩壊を契機に、様々な要因が重なり、近年は入り込み客の減少が続く、厳しい状況を呈しております。昨年来、円高基調の改善や観光客のニーズの変化、公立高校の沖縄への修学旅行の解禁などがあり、沖縄人気は回復基調が見られますが、その内情は、まだまだ厳しい状況にあることに違いはありません。

観光産業は、今や本村の基幹産業とも言える重要な産業であり、その盛衰は、他の産業にも重大な影響を及ぼします。又、将来において軍用地の返還等による村財源の確保が懸念される中であって、観光産業の振興は必要不可欠な要素であるとともに、重大な課題でもあります。

このようなことから、平成九年度においては、村をあげてその振興に取り組むこととし、次の施策を基本として、事業を展開して参ります。

- ① 観光審議会の答申を尊重した恩納村観光振興計画を策定し恩納村観光の将来像を明確にするとともに、その計画的な実

現を推進するためのアクションプログラムを作成します。

- ② 花いっぱい運動などのCGG運動を推進し、村民のホスピタリティ思想の高揚を図るとともに、体験学習の実施、伝統芸能の活用など、村民参加型の観光リゾート地の創造を推進します。併せて、村民が観光推進に際し、メリットを実感できるようなシステムづくりに努めます。

- ③ 村内の観光、リゾート企業と連携した恩納村長カップビーチサッカー大会やボードセイリング大会等多様なイベントを開催し、誘客を推進するとともに、村内リゾート企業のノウハウを活用するなど、恩納村の魅力を最大限に内外へアピールを行うことにより、イメージアップを図ります。また、地域振興協議会を中心とした特産品の開発及び各種イベントへの特産品コーナーの設け、並びに交流事業等を推進してまいります。以上の事項を柱に、事業を推進してまいります。

また、観光の振興は村民が主役であり、村民の意向に添わない観光は存在しないと考えます。村民が観光リゾートの振興によりメリットを享受し、実感できる観光地「恩納村」の実現を目指して、鋭意努力して参ります。

また、長引く不況や観光産業の低迷は、村内の商工業者とも深刻な影響を与えているものと思われまますので、その指導母体の商工会と協議を行い、必要な施策を講じて参ります。又、公共事業等への可能な限りの村内業者の活用等も推進していきたくと考えております。

福祉・保健・医療が三位一体 健康で豊かな長寿村づくり

本格的な高齢化社会の到来を迎え、保健・医療・福祉の充実強化こそ、村民が健康で豊かな明るい生きがいを持ち、安心して生涯を過ごせるような活力のある長寿福祉村づくりの基本であります。

このため、平成十一年度を目標達成年度とする、高齢者保健福祉施策の具体的方針やサービスの目標量を定めた「恩納村老人保健福祉計画」に基づき、統合的・専門的庁舎内推進体制を確立し、各部門の連携や保健・医療・福祉が一体となる施策を推進してまいります。

これらは、村民をはじめ、家庭、地域社会、関係団体等に計画の周知や理解を得るよう努めるとともに、地域活動への協力と参加を要請し、それぞれの役割分担の明確化と連携を図り、高齢化社会に向けた施策を民間と行政が一体となって推進してまいります。

今後、高齢化の進展とともに、社会経済の変化、高齢者の多様なニーズなど新たな課題が生ずることが見込まれます。これらに対応するため、高齢化社会に対する調査・研究・情報の収集に努めます。



老人福祉

老人福祉については、今年度もデイサービス事業、ショートステイ事業、ホームヘルパー派遣事業等の在宅三本柱を中心とする在宅福祉サービスを一層充実させ、平成八年度から実施しております。「在宅介護支援センター運営事業」を活用し、寝たきり老人等を抱える家族に対し、専門家による介護相談及び指導を二十四時間体制で行います。

又、在宅福祉の基本事業として更に必要性の高まりや、利用者も徐々に伸びてきており、地域の公民館を利用したミニ・デイサービス等も実施して行きたいと思っております。

更に、一人暮らしのお年寄りが、毎日安心して暮らせるように「緊急通報システム事業」を二十四時間体制できめ細やかに見守り、緊急時には迅速・確実な支援体制を検討してまいります。

社会福祉の推進に当たっては、公的施策とあいまって、村民の幅広い連帯感や善意に支えられた民間福祉活動の展開が不可欠であります。

今年度も地域福祉の大きな担い手である民生委員・児童委員、民間福祉活動の中核的組織であります社会福祉協議会や福祉団体等と地域の連携を密にし、高齢化社会に向けた施策を推進するとともに、今後はマンパワーの確保、ボランティア

アの育成を再検討して、その活動の充実を図るとともに、在宅福祉サービスの拡充に努めてまいります。

心身障害者福祉

国におきまして、平成七年十二月に「障害者プランナーノーマライゼーション七ヶ年戦略」を策定し、平成八年度から十四年度までの七ヶ年間を計画期間として、数値目標を具体的に示し、障害者の自立と社会参加に向けた各種の施策を積極的に推進することとしております。

本村においても、国県の支援の下に障害者施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、地域の実情を踏まえ、創意工夫した「恩納村障害者福祉計画」の策定を進めてまいります。

又、医療費助成や福祉機器対策事業等も引き続き行います。

保育事業

近年の出生率の低下、夫婦共働き世帯の増加、核家族化の進行など子どもと家庭を取り巻く環境は、大きく変化しております。

このため国においては、子育て支援の基本方向と重点施策を盛り込んだ「エンゼルプラン」を策定し、このプラン実現を図るため「緊急保育対策等5ヶ年事業」

がスタートしていることはご案内のとおりであります。

村としては、二十一世紀を担う子どもたちが健やかに生まれ育つための環境づくりを積極的に推進するために、官民一体となって児童家庭福祉に関する総合的な対策を検討し「エンゼルプラン」の策定を推進してまいりたいと考えております。

母子保健

又、保育所の整備と併せ、保育需要の多様化に対応した乳児保育や時間延長保育等の特別保育事業の拡充に努めてまいります。

なお、現東西清掃施設組合は新組合の施設が操業するまでは現況どおり処理作業を行いますが、リサイクル法の制定に伴う分別収集や、草木、タンシ、冷蔵庫等の粗大ごみの回収処理等について検討し環境にやさしい村づくりにつとめます。

下水道については、村の自然環境の保全や観光リゾート地として、平成三年度に村一円を対象に一ヶ所で処理する公共下水道事業計画案を樹立しましたが、二十七キロメートル余に及ぶ細長い恩納村の地形上、事業費と管理運営維持費が多額になるため、村財政事情及び受益者負担等の問題で断念しておりましたが、近年下水道処理施設の近代化により、集落単位での事業が可能となり、事業費等の軽減が図られるようになりました。

平成八年度は、村内部の係長級で構成する下水道計画策定委員会を発足させ関

村道整備

平成八年度は、仲泊ニュータウン・谷茶原線が新しく認定されました。村道の総延長は三九・七二五m、その舗装率は九六・三％となっております。

本年度は谷茶原線改良工事と主要路線の維持管理、併せて道路台帳の整備を行うと共に、村道占用料徴収条例を制定して適正な道路管理業務を推進いたします。

河川整備

河川の氾濫により集落及び農地に被害をおよぼしている箇所や排水不良による環境汚染のある箇所の改善を図るために、垂川の河川改良継続工事と億首川の維持工事を実施します。

又、河口閉塞については、基本的に災害の防止に配慮しつつ、日常的に汚水が停留し衛生的にも好ましくない箇所を優先して改善する必要があります。本年度は安富祖川河口を実施致します。

近隣公園整備

地域の固有な地理的、歴史的、社会的特性を活用し地域の主体性と創意工夫を基軸とした地域づくりを推進し、今後の高齢化社会の進展や勤労者の余暇時間の増大等、世代を越えた交流の場、憩いの場が必要であります。本年度は、字加地近隣公園を継続工事として実施致します。

環境衛生・上下水道

これまで各集落の道路・排水路等の環境整備事業を実施してまいりましたが、本年度も村民が安全で快適な生活ができるように継続・実施してまいります。

なお、ごみ処理問題については、平成九年三月三十一日に東西清掃施設組合を解散して四月一日をメドに、与那城町・勝連町・具志川市・石川市・恩納村で一部事務組合（仮称・中部北環境施設組合）

生活環境整備